

科目名	地域と文化 Region and Culture						
科目担当者	朝日 克彦 ASAHI Katsuhiko						
単位数	2	配当年次	1	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 〔区分〕	法学部・法律学科〔総合教育科目 人間形成〕 経営学部・経営学科〔総合教育科目 人間形成〕					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	<p>各地に存在する文化財に焦点をあてる．さまざまな文化財を題材にして地域を俯瞰し，文化財を保存しつつ上手に利活用することでまちづくりにつなげることができる．こうすることで地域の「遺産」を継承していくこともできる．</p> <p>九州，宮崎の史跡，無形遺産，伝建地区，天然記念物など文化財を紹介し，それらの成り立ちや存在から分かることを解説する．さらに全国の代表的資産と活用例，世界の事例に言及する</p>						
授業の到達目標	<p>① 自身の出身地や居住地，関心のある土地にある「遺産」の存在とその価値を理解する．</p> <p>② 「遺産」を実際に利活用して，遺産を途絶えさせることなく次世代へ継承する．</p>						
授業計画・内容	1	ガイダンス（講義の受講方法，博物館の見学，実際の文化財の見学，レポート作成）					
	2	文化財とは何か					
	3	有形文化財					
	4	無形文化財					
	5	民俗文化財					
	6	天然記念物					
	7	文化的景観					
	8	伝統的建造物群					
	9	ユネスコの文化財保護政策					
	10	天然記念物と利活用					
	11	世界農業遺産を観光に活かす					
	12	アメリカの国立公園システム					
	13	学生の成果発表					
	14	学生の成果発表					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	次回講義内容のキーワードの意味と事例を調べておく（毎週 1 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	講義時間内にレポート課題を課す．出身地や関心のある土地を訪問して，その地にある文化財を解説する．それらが文化財として保存，継承されていることからさらに利活用して，まちづくりにどう活用されているか，継承していくための課題までを要領よくまとめてレポート提出．（講義時間内）．（45 時間程度）．						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	・ 講義時間内のレポート ・ 定期試験					60% 40%	①、② ①、②
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	なし						
参考文献	参考資料：web「みやざき文化財情報」						
その他	講義期間中の早い段階に各自で文化財の現場に実際に出て，見て，調べて，レポートにします．						